

調 報



調 布 市 文 化 協 会

調布市小島町 2 - 33 - 1 調布市文化会館たづくり6F

URL : <http://www.chofushibunkakyokai.jp>
chofu-bunkyo@bj.wakwak.com

文化振興の先陣を切つて、私が見てきた文化協会へ

財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団 理事長 荻 本 貞 臣

私はこれまで財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団の理事や相談役として調布市の文化振興に携わってまいりましたが、平成21年4月から当財団の理事長に就任いたしました。

当財団のこれまでの歩みの中で、貴協会は良き指南役として、時には文化振興に力を尽くす際の同志として、また時には良きライバルとして、いつのときにも当財団の活動には欠かせない心強い存在でした。

また、私は調布市商工会会長を務めていたこともありましたが、その立場から貴協会の存在感を頼もしく感じることが多々ありました。商工会は調布市の経済振興の中心としての役割とともに、地域振興にも力を尽くしてきましたが、商工会ではなかなか取り組みづらい「文化」という場面においては、その中心的存在として貴協会はすでに調布市民の心をとらえていました。

そして、平成21年10月半ばから約1カ月にわたり開催されました第54回調布市民文化祭を拝見した際には、展示などその作品の素晴らしさはもとより、各団体の方々や、作品を楽しそうに、また感銘を受けた様子で鑑賞される来場者の姿がたいへん印象的であり、これまでの貴協会の活動が市民の中に深く定着していることを実感い

たしました。

文化振興への取り組みは一朝一夕には成し遂げられないことですが、貴協会が昭和23年11月に結成された「調布町文化会」の時代から60年にわたり、時代の変遷にも変わることなくその役割を担ってきたことにはたいへん大きな意義があると感じております。

私も今、文化振興の一翼を担う組織の長に就任し、その責任の重さをかみしめているところでありますが、当財団と貴協会が、支えあい、競いあい、良いところを取り入れあうことでより良い相乗効果が生み出されると思っています。調布市の今後の文化振興の発展に手を取り合っ

て臨んでまいりたいと思っておりますので、よろしく
お願い申し上げます。
末筆になりましたが、調布市文化協会のますますのご
発展を心よりお祈り申し上げます。

荻本理事長は、調布市商工会会長および東京都商工会連合会副会長を永年努められ、平成17年秋には、その功績により「旭日双光賞」を受賞されました。さらに商工業振興の活動中も、幅広い見識で文化の振興にも寄与され、当協会へのご理解も益々高まる中、その思いを寄稿いただきました。

〈調布市文化協会会長 高岡 宮子〉

平成二十一年度事業報告

平成21年

- 4・6 文化協会役員会
- 4・24 第43回定期総会(懇親会)
- 20年度事業会計報告
- 21年度事業計画・予算
- 5・8 文化協会役員会
- 5・31～6・1 魚沼市文化協会との研修交流旅行(参加35人)

第54回調布市民文化祭実行委員会報告

- 2・15 第3回文化協会理事会
- 2・20 会報44号発行
- なお、期間中に文化協会主催・(財)調布市文化コミュニティ振興財団共催で、実技講座10団体が実施され、参加人員は409人であった。

調布市文化協会主催「第13回生涯学習講演会」

『昭和・平成の映像文化を支えた「スタント」』

スタントマンのバイオニアが語る

講師 高 楠 勝 大氏

タカハシレーシング代表取締役

とき 平成22年3月1日(月) 午後6時(開場午後5時30分)

ところ 調布市文化会館たづくり・12階大会議場

定員 二二〇人(入場無料・先着順)

主催 調布市文化協会

後援 調布市、(財)調布市文化・コミュニティ振興財団

- 6・18 第1回文化協会理事会
- 6・29 市長と語る懇談会
- 7・15 会報43号発行
- 8・8～9 木島平村芸術文化協会との交流(参加28人)
- 9・6 「調布よさこい」への協力 模擬店出店・役員担当 民謡舞踊友好会100人、ハワイアンフラ協会100人舞踊参加協力。
- 12・18 第2回文化協会理事会
- 平成22年
- 1・13 財団と役員との懇話会
- 1・22 文化協会理事会新年会
- 7・10 第3回実行委員会 開会式・文化祭プラザ内容決定
- 5・15 第1回実行委員会 参加団体確認 開催日程と会場割 他
- 6・12 第2回実行委員会 調布市民文化祭テーマ・予算決定
- 6・12 第2回実行委員会 調布市民文化祭テーマ・予算決定
- 9・11 第4回実行委員会 ポスター配布
- 9・7～17 一般市民文化祭参加 申込受付(106人)
- 9・11 第4回実行委員会 ポスター配布
- 10・2 第5回実行委員会 総合プログラム配布
- 10・15 第54回文化祭開会式 「式典・アトラクション」くすのきホールにて
- 10・15 (29団体・3公民館参加) 総合プログラム原稿確認
- 10・15～11・15 市民文化祭開催
- 10・17～18 文化祭プラザ 市役所前庭にて 工芸・囲碁・将棋の実技、実演コーナー
- 10・31～11・8 3公民館地域文化祭
- 10・31～11・8 3公民館地域文化祭
- 12・12 第6回実行委員会報告会 参加状況報告、会計報告 次年度の検討・要望など

平成二十一年度 木島平村芸術文化協会との交流 第二十五回木島平村夏祭り・盆踊りに参加

調布市文化協会副会長 宮本 正章

八月八日(土) 午前七時に木島平村観光(株)のバスで、調布市文化協会役員および文化協会会員総勢二十八人が、木島平へ向かった。天気もよく、楽しいバスの旅行であり、当日混雑のため多少遅れたりもしたが、十三時過ぎに当地に

到着し、パノラマランド・木島平において、木島平村芸術文化協会との交流を行った。

木島平村芸術文化協会・本山栄己会長の挨拶のあと、調布市文化協会・高岡宮子会長からの挨拶へと続いた。出席者の紹介が、木島平村公民館の湯本敦氏より行われ、木島平村芸術文化協会元会長・高山行正氏の乾杯で、交流と昼食会が楽しく行われた(約二時間)。

夕食後、浴衣に着替えた総勢は、ケヤキの森中央グラウンドにバスで向かい、夏祭り(盆踊り・花火大会)に参加した。木島平村長、実行委員長、調布市長、調布市議会議長の挨拶のあと、「盆じゃもの」「木島平どどんか」「調布音頭」「からす踊り」等を、大きな円を描いて踊った。その踊りの輪の周りに

は、例年通り、木島平村内の各地区の創作山車が華々しく行き交い、参加者の目を楽しませた。木島平村の盆踊りの歌は、中央の舞台の上でベテランによって歌われ、なんとも心地よいものであった。締めくくりの二十一時半ごろになり、盛大な打ち上げ花火が上がって、楽しい夏祭りが終了した。宿泊は、パノラマランド・木島平であり、楽しく二次会を行った。

翌朝九時にホテルを出発し、第二次世界大戦中、志半ばで戦場に散った画学生の遺作を収蔵・展示している「無言館」で涙を流し、「上田城跡公園」・「山本鼎記念館」を見学し、昼食後、「北国街道・海野宿」をゆっくりと散策し、昔の街並みの店々に立ち寄りながら、江戸時代の庶民の生活に思いを馳せて、旅を締めくくった。

天気にも恵まれ、素晴らしい文化交流旅行であった。



2009/08/08



2009/08/08

第54回調布市民文化祭は、右記のテーマと期間で開かれました。参加団体は、大会・発表部門21団体と展覧・展示部門8団体、そして東部、西部、北部の3公民館地域文化祭（10月31日(土)～11月8日(日)）が各会場で熱心に趣向をこらして行われました。

第54回 調布市民文化祭 「文化の芽吹き、華やぐ調布」

2009年10月15日(木)～
11月15日(日)

(文化祭プラザ
10月17日(土)～18日(日)
於調布市役所前庭)

開会式アトラクション
「調布育ち姉弟の奏でる
弦の調べ」

出演・江口有香・江口心一



アンフラフェスティバル (調布市ハワイアンフラ協会)



絵画展 (調布市美術協会)



大学古典ギター部



民謡舞踊・新舞踊発表会 (調布市民謡舞踊友好会)



工芸美術展 (調布工芸美術協会)



調布市演劇協会



薩摩琵琶演奏会 (龍子会)



エスペラント展示 (調布エスペラント会)

10月15日の文化祭開会式は出席者七四三名でくすのきホールが満席となりました。アトラクションは「調布育ち姉弟の奏でる弦の調べ」と題して、江口有香、江口心一ご姉弟のヴァイオリンとチェロのすばらしい演奏に拍手喝采でした。今年の観覧者数は発表部門一、五二名、展覧展示部門一六、七九〇名でした。また10月17日、18日、調布市役所前庭で開かれた文化祭プラザも本部テントでのコーヒー販売や実技・実演コーナーでの市民参加、そして野外ライブとしてハワイアンフラ協会によるフラダンス、タヒチダンスや調布三曲協会による箏と尺八等の演奏が行われました。

「第54回調布市民文化祭」
 調布市文化・コミュニティ
 振興財団事業課 三田真由美
 第五十四回調布市民文化祭が、大盛況のなか、無事終了しました。開催期間中、文化祭実行委員、市民の皆様には、多大なる御尽力をいただきありがとうございます。

ございました。文化祭には二十九の団体が参加しています。ジャンルは絵画からエスペラント語まで非常に多岐に渡っており、どの催し物も渾身の力作ばかりです。今回のスローガンは「文化の芽吹き華や調布」。文化祭を見ていると市民の皆様一人ひとりによって創

造された多くの文化が、調布に芽吹いているのだと感ずることができました。次回の文化祭は第五十五回の節目となります。調布に芽吹いた文化が、市民の皆様達の生活の華やぎとなるような文化祭をつくっていききたいと思っております。



民謡発表会 (調布市民謡連盟)



ハワイアン



市民将棋大会 (調布市将棋連盟)



クラシックギター発表会 (電気通信)



文化祭プラザ 本部テント



文化祭プラザ



演劇祭 (調布)

創立45周年記念大会を終えて

調布市民謡舞踊好友会 代表 両角 秀子

昨年7月26日調布市グリーンホール大ホールにおいて、調布市民謡舞踊好友会創立45周年記念舞踊大会を開催致しました。

当日は夏真つ盛りにも拘わらず大勢のお客様のご来場をいただき、式典には、長友調布市長・高岡調布市文化協会会長・荻本(財)調布市文化・コミュニティ振興財団理事長より大変暖かいご祝辞をいただきました。

今回の企画として61曲の演目を新舞踊・民謡舞踊・会主の一人踊りと三部に分け会場の皆様にも楽しんでいただけた事と思えます。この日のために会員一同精進して参りました成果を発表させていただき華やかな舞台をくり広げさせていただきました。フィナーレには会主一同の「花笠踊り」で無事記念大会を終了する事が出来まし



た。これも偏に調布市関係機関並びに調布市文化協会、各諸先生方を始めご支援くださる皆様のお陰と心より深く感謝申し上げます。今後共会員一同力を合わせて、調布市の文化発展のために研鑽を重ねて参りたいと思えます。

調布市美術協会創立50周年記念式典・祝賀会盛大に挙行

調布市美術協会 事務局長 小西 勲夫

9月13日、たづくり大会議場で挙行した「調布市美術協会創立50



周年記念式典・祝賀会」には、市長、市議会議員、文化協会会長、教育長、(財)調布市文化・コミュニティ振興財団理事長、関係諸機関の方々初め、日頃お世話になっている協力者の方々など多くのご来賓にご出席頂き、会員含め総勢130名で盛大に、和やかに創立50周年をお祝いして頂きました。

9月1日発行の「調布市美術協会創立50周年記念誌」、9月7日～13日開催の「創立50周年記念第90回調布市美術協会展」とともに、創立50周年記念事業はすべて意義深く終えることができました。

ご支援を頂いた多くの方々にご感謝いたします。そして今、美術協会は100周年への一歩を力強く踏み出しました。今後とも一層のご支援をよろしくお願い致します。

実 技 講 座

実技講座を終えて

調布市歌謡同好会連盟
事務局 嶋谷 隆治

今回平成21年7月4日、11日の二回、調布市歌謡同好会連盟が、カラオケ実技初級、中級者講座を担当、市内在住、在勤者を対象に30名(二回出席可)の募集案内、当日飛込の見学者もあり合計72名での講座となりました。

講師藤平裕美氏(PKK)初期の目的である基本、一リズム、二発声、三呼吸法等を重点に課題曲一、朝花(石川さゆり)、二、比叡の風(北島三郎)を選曲。藤平先生のピアノに合せそれぞれ各



講 座

小節毎に何度も反復練習を重ねて詞作曲の意味、特にこぶし、さび、強弱、表現の発揮を小グループに分かれ合唱形式で参加者が全員歌唱出来るまでに上達、数名の個人歌唱もあり、二回限定の講座であったが全員の勤勉、努力、に痛感された、大変有意義であった実技講座でありました。

初心者のための詩吟講座

調布市吟剣詩舞道連盟
樋口 尚也

調布市吟剣詩舞道連盟は本年も実技講座を9月12・19・26日(土)の三回実施させていただきました。詩吟というと「漢字ばかりで難しいもの」という先入観がありなかなか興味を持ってもらえないのが現状ですが、今回は講師として、佐々木朝鵬氏をお迎えして、初めての人にもわかりやすく、そして懇切丁寧な指導を仰ぐ事が出来ました。参加者は延べ22名でしたが、

全くの初心者の方でも講師のご指導によりすぐに声を出し朗々と吟じて居られ、詩吟の楽しさを実感してもらえたのではないかと思います。今後共詩吟普及活動の一環として実技講座を活用させていただきたいと考えて居ります。

あなたも大正琴を弾いてみませんか!

調布市大正琴連盟

上畑 敏子

前日のどしゃ降りの雨もあがり、実技講座初日の11月15日は、真っ青な空に眩しい陽射しの小春日和となり、予約の33名全員が、気持ち良く参加してくださいました。動機を伺うと、大正琴の哀愁をおびた音色にひかれてとか、文化祭の大正琴発表会を聞いてとの答えが返ってきました。とても嬉しい気持ちと責任も感じつつ、講座をスタートしました。

一般的な説明と注意点を話した後、さて、実際に弾くととなると「左指を指定されるので大変だ」「自

分の手なのに思うように動いてくれない」「折角、覚えたのに、すぐ忘れてしまう」等々と嘆きつつも、二日間で「蝶々」「荒城の月」「さくらさくら」を、どうにかマスターして終了しました。

ただ二回目(11月22日(日))は、紅葉シーズンの連休のため欠席者が、三名出たのは残念でした。(延べ出席者33名)

これを契機に、更に大正琴に親しんで、趣味の一つに加えてくださることを、切望しています。

また、大正琴の愛好者は、年々高齢化していますし、女性が殆どです。これからは、若い方、男性の方にも、興味を持っていただきたいと願っています。

カネ(男性)達のフラダンス

調布市ハワイアン協会会長
富澤登代子

11月28日、29日の両日に実技講座を開催させて頂きました。前日まで申込み者が一人もいなくて困っていましたが、駅前のチラシ



の配布が功を奏したのかお陰様で25名の参加がありました。初日は準備運動から入り、ベ

動きをしますのでカネ(男性)達も真剣そのものでした。
二日目は、カネ(男性)のフラダンスの音楽に合わせて一曲を全部おぼえていただき、皆さん汗びっしりで楽しそうに踊っていたいただきましたのでとても嬉しく感動致しました。
これからもカネ(男性)のフラダンスを、もっと理解していただく様に努力して参ります。

初めてのマジックII

調布市奇術協会

岳野 勝治

11月21・28日・12月12日の3日間、受講者14名の多くは比較的熟年の方々で、それが落ち着いた雰囲気を作り出していました。その中には多少マジックをなさっていたり或いはお仕事の中に取り入れられたら、との思いの方もあって、講習に対する関心は相当高いものでした。講師が次々と演じる演目に対しては驚きと感嘆の声だったのが、演じ方を親切丁寧に教えられると、修得しようとする目つき、それが会得出来た時の顔の輝きは幼い子供の様でした。



パンフラワー初心者講習会

フラワーデザイン協会

高岡 宮子

パンフラワーは、パン粘土に油絵の具を入れて着色し、花びらや葉は一枚一枚大きさを考えながら作成し自然乾燥(一昼夜)後に再度油絵の具で着色し組み立てます。また、パンフラワーの教科書は、教師の手元・指先です。

今回は「クリスマスリース」を12月1日・8日の二回で仕上げるように、繰り返し部分は一部宿題としましたが、限られた二回・二時間の初心者講習会開催に当たり、手順を何度もシミュレーションし、依頼したアシスタント二人と共に受講者一人一人に、コツを教え、アドバイスをしながら目まぐるしく動き回るなど、日常パンフラワー教室は、座ってお喋りをしながら指先を動かしての作業とは程遠い、賑やかな教室・講習会となりました。

粘土の量もワイヤーの数も皆同じですが、出来上がった「葉」は

個人差があり、ぶ厚いのや薄いのや、また几帳面に仕上げたり、さらに作業の早い人・遅い人等……。

しかし、どれが正しいのでは無く、他の人と比べること無く、自分なりに納得できることが、これぞまさに世界に一つだけ・オンリーワンの作品で愛しいものです。

初めて触れた「パンフラワー」出来上がった作品に目を細め、笑顔の受講生の誇らしげな様子は、パンフラワー講師歴三十余年経てもなお、『継続は力なり』と新鮮な思いにさせてもらえます。

同時に、初心者講習するパンフラワーの「コツ」「ノウハウ」を、改めて受講者から逆に学ばせてもらった思いの講習会でした。

NHK連続テレビ小説に

「ゲゲゲの女房」が登場

ご存じ調布名誉市民水木しげる氏の奥様武良布枝氏の作品で、ご一家の調布での生活が舞台となっております。(本年3月29日(月)より放映されますので、皆様お楽しみください。)